

第3回犯罪被害者等に対する心理療法の費用の公費負担に関する検討会
資料等に対する質問事項

小西 聖子

1 資料3について

- 一般的なサポートィブカウンセリングは治療の中でどのように使われ、どのように費用が賄われているか、おおよそのところをお示してください。またPEの対象になる方は被害者のうち何%くらいでしょうか。

2 資料4について

- 5000円のカウンセリング料が払えない方には減免の道があるとのことですが、どの程度の方が減免を受けていますか？その場合の実際にかかる費用はどうやって負担されているのでしょうか。

3 資料5について

- 臨床心理士の仕事は世の中で関心を持たれ、期待されている割に、その実情が知られていないように思います。資格維持はかなり厳しいのに、低所得、非常勤の方々が多くの理由は何でしょうか。
- 医療機関と関連して仕事をしている臨床心理士で非常勤の方の場合、最近は自由診療・歩合制（ケース一件当たりで報酬）になっている場合も多いと聞きますが、実情はいかがでしょうか。

4 警察庁への質問

犯罪被害者支援センターで、実施している臨床心理士相談は全国でいくつくらいあるか、また何ケースくらい担当しているか。

(東京をはじめとして微々たる数ではないかと思えます。有給で雇う必要があるので、非常勤で日にちが限定されることがほとんどではないでしょうか。)